

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年1月29日

【2018年1月20日～2018年1月26日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは対米ドルで上昇する一方、ドル安・円高が進行したことを受けて対円では下落しました。また、2年国債金利は大幅に低下しました。ルラ元大統領の控訴審判決の結果を好感して、ブラジル金融市場では為替・債券ともに堅調な推移となりました。

ルラ元大統領の控訴審につきましては、3名の判事全員が第一審の有罪判決を支持するとともに、禁固刑の刑期を第一審判決の9年6か月から12年1か月へと延長することを決定して審理が終了しました。この判決に不服の場合、ルラ氏は連邦最高裁判所へ上告することが可能ですが、汚職疑惑のある人物が公職に立候補することを禁ずる「フィッシャ・リンパ法」の定めにより、ルラ氏の大統領選出馬は困難な状況となりました。これに対してルラ氏および労働者党(PT)は、大統領選立候補の強行を宣言し、裁判結果に全面对決する姿勢を明確にしました。しかし、ルラ氏が出馬するためには、8月の立候補期限までに連邦最高裁判所で無罪判決を勝ち取る必要があります。その可能性は非常に低いとみられます。

年金改革法案を巡る政治情勢に大きな進展はありませんでしたが、政府はエトロプラス(ブラジル中央電力)の民営化に関する議案を議会に提出するなど、年金改革以外の分野での構造改革については一定の進捗が見られました。

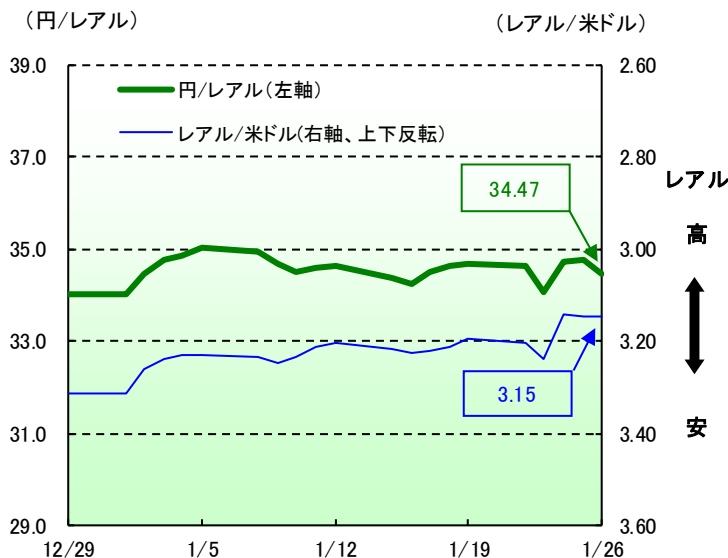
【2】今週の見通し

ルラ元大統領の控訴審を通過したことで、市場参加者の注目材料は再び年金改革法案の行方に戻ることが想定されます。2月2日(現地、以下同様)からブラジル議会が再開され、同法案の審議は5日から開始される見込みです。しかし、12日から13日はカーニバルで休日となるなど、19日に予定されている採決までの時間的余裕が乏しく、政府による法案通過にむけた議会工作は難航することが予想されます。市場では既に同法案の採決が大統領選後に先送りされる可能性が織り込まれつつあります。

経済指標に関しましては、基礎的財政収支など国家財政に関する指標や鉱工業生産の発表が予定されております。

【ブラジル・レアル 為替推移】

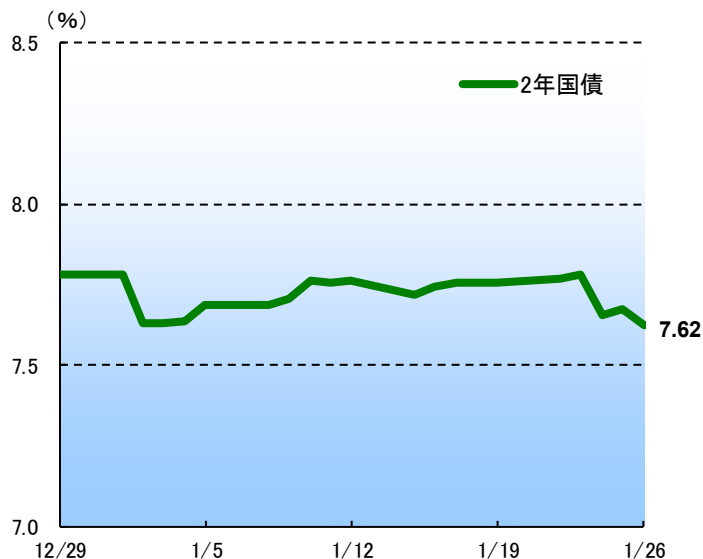
(2017年12月29日～2018年1月26日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2017年12月29日～2018年1月26日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>